

がん予防対策の概要

がん検診受診促進事業

がん検診受診キャンペーン

ピンクリボン運動等の実施【継】

メディアや関係団体と協働して、広域的な普及啓発を行う。

大腸がんウォーキングイベントの実施【新】

関係団体と協働し、大腸がん検診に関する普及啓発キャンペーンを実施する。

フリーペーパーを活用した普及啓発【新】

主に子宮がんについて、関心を持たない層に対して情報を発信する。

区市町村におけるがん検診普及啓発の支援【継】(*医療保健政策区市町村包括補助)

がん検診受診率向上事業【新】

医療保健政策区市町村包括補助事業を活用し、がん検診受診率向上施策に積極的に取り組む区市町村と連携して、有効な受診率向上施策を策定する。

検診実施体制の整備

がん検診精度向上支援事業

がん検診精度管理評価事業【継】

区市町村が実施する検診の精度管理方法等について助言する。

検診受託機関講習会【新】

区市町村のがん検診を受託する検診機関に対して実施指針を基にした講習会を開催し、統一的に精度の高い検診体制を整備する。

乳がん検診機器整備事業【継】

乳がん検診の実施体制を整備するため、区市町村及び職域の検診を実施する検診機関等に対してマンモグラフィ検診機器の整備補助を実施する。

読影医師等養成研修【継】

マンモグラフィによる乳がん検診に従事する医師や診療放射線技師の読影・撮影能力等の向上を図り、乳がん検診体制の整備を図る。(読影研修2回、技術研修2回)

職域がん検診支援事業【新】

がんの早期発見及び職域でのがん検診実施の重要性を周知するとともに、職域におけるがん検診実施体制の整備を目指す。

* 医療保健政策区市町村包括補助(地域の実情に応じた事業促進のための区市町村への補助)

【先駆的事業】補助率 10/10

【選択事業】補助率 1/2

Q 「ピンクリボン in 東京2009」～乳がん検診の受診率向上を目指して～

東京都の乳がんの現状

- 日本人女性の23人に1人が乳がんにかかると推計
- 乳がんでの死亡率は全都道府県中、最も高い
- 乳がん検診受診率は9.1%（全国平均は14.2%）
（厚生労働省：平成19年度地域保健・老人保健事業報告）

乳がんの特徴

- ☆ 誰でもかかる可能性がある
- ☆ 早期発見・早期治療による治癒率が高い

検診受診率の向上が重要な課題

検診受診の重要性を広く都民に理解してもらわなければならない！

取組内容

1 都庁第一本庁舎をピンクリボンにライトアップ

期間：10月1日(木)～4日(日)までの4日間 終了日は朝比奈・ツグ・パ・リビッヅが招致本部と調整
【環境への配慮 森ヶ崎水再生センターのバイオマス電力を使用】



2 ピンクリボン in 東京 2009

内容： トークショー、コンサート、ヘアブリアーティストの公演
ライトアップのカウンタダウン
企業・団体等による普及啓発資料の配布・展示
検診車による普及啓発

日時：10月1日(木) 17:00～19:30
場所：都庁都民広場

3 民間と協働した普及啓発

内容：都庁周辺ビル、ホテル、新宿区商店街等と連携
・ライトアップ、ピンクリボンロゴのパナー掲出、ピンクリボンランチ・カクテル等の提供
・ポスター掲示、ピンクリボンバッジの配布

時期：10月

4 視覚に訴える広報展開

内容：ピンクリボンロゴのパナー掲出（都庁前中央通り）
車内広告（デザイン大賞ポスター部門・東京都コピエ部門、都オリジナルポスター使用）
地下鉄駅・郵便局等でのポスター掲示（デザイン大賞ポスター部門の作品使用）
イベントちらしの配布
ピンクリボンバスカードの販売（交通局）
広報協力（Yahoo! JAPAN等に依頼）
パネル展の実施（都庁第一庁舎1階中央スペース：10/19～10/26）

時期：10月

5 ポスターカードによる普及啓発

内容：都及び区市町村の普及啓発イベントや、関係機関をとおして、「がん検診普及啓発用ポスターカード」を配布し、子どもから親へ、友人、知人へ検診をよびかけてもらう。
日時：10月から

6 区市町村の普及啓発事業をサポート

内容：区市町村が独自に行う乳がんの普及啓発事業をサポートする。
包括補助事業を活用した普及啓発事業の促進
イベント・講演会等で使用できる普及啓発用ピンクリボングッズの斡旋（ポケットティッシュ、ピンクリボンバッジ）
ポスターカードやリーフレットの提供
時期：通年

7 都保健所と連携した取組

内容：街頭キャンペーン等の実施
街頭キャンペーン等で使用できる普及啓発用ピンクリボングッズの活用（ポケットティッシュ、ピンクリボンバッジ、パナー、ジャンパー等）
時期：10月

8 効果検証の実施

内容：乳がん検診普及啓発事業の効果について、都保健所や区市町村の取組も含めて検証する。
時期：10月～11月

大腸がん検診普及啓発ウォーキングイベント（案）

1 名称

「Tokyo 健康ウォーク（仮称）」

2 目的

がんを早期に発見し治療につなげるために、大腸がん検診の受診促進に資することを目的として、大腸がんに関する知識を楽しく学べる参加体験型のウォーキングイベントを開催し、大腸がん検診の普及啓発の加速を図る。

3 開催日時

平成 21 年 11 月 1 日（日）午前 8 時 50 分から午後 4 時 30 分まで

4 事業内容

(1) ウォーキング

東京国際フォーラムをスタート・ゴールに設定して実施。

<ウォーキングコース> 5km（皇居、丸の内）

10km（皇居、丸の内、銀座、佃島、隅田川沿い）

(2) イベント

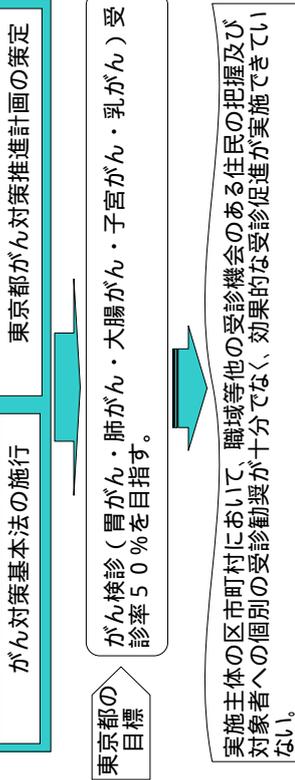
東京国際フォーラム展示ホールを会場にし、参加者が、楽しみながら大腸がんについて知識を深められるよう、タレントと医師によるトークショーを実施

5 参加資格及び規模

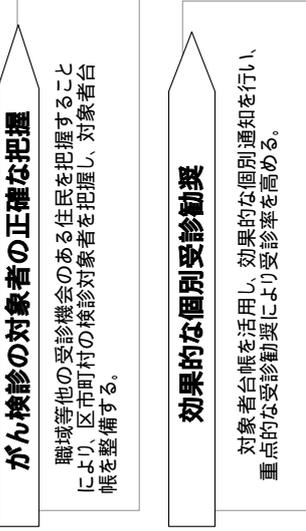
都内在住、在勤、在学の健康な方 2,000名

がん検診受診率向上事業の概念図

背景



目的

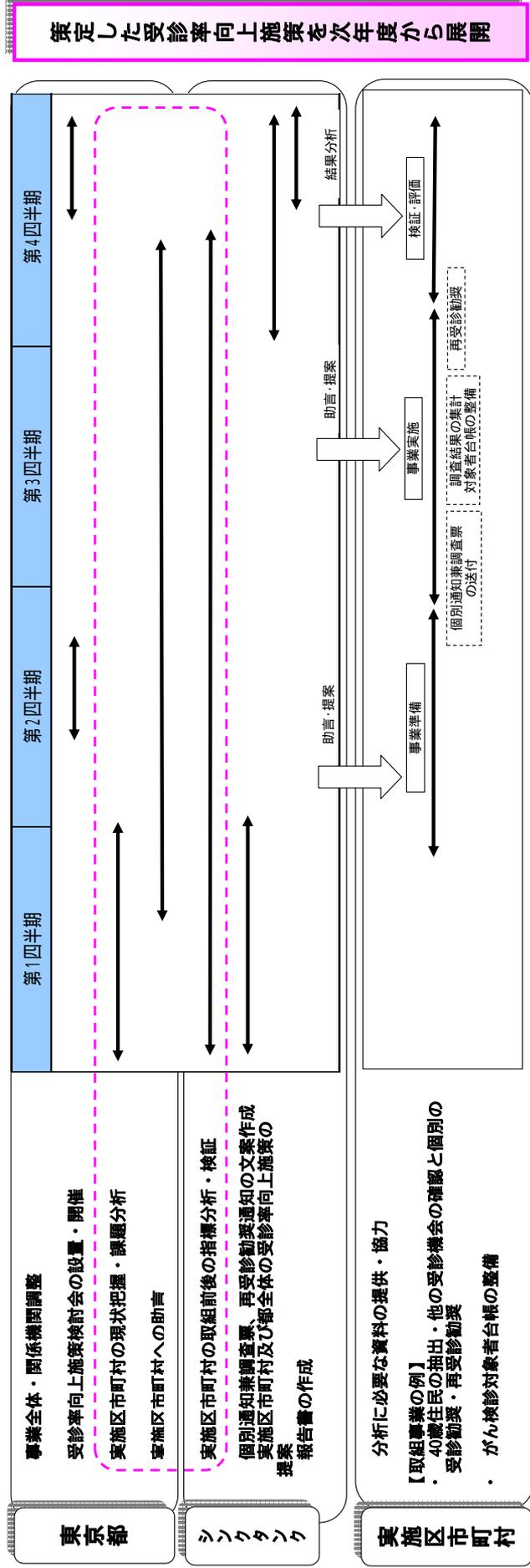


有効な受診率向上施策の策定

実施前後を分析・検証し、地域特性を活かした今後のがん検診受診率向上施策を導き出す。

がん検診受診率向上事業の内容

重点的に分析・効果検証を行う区市町村は、**区部及び市町村部各2ヶ所**



は、東京都とシンクタンク（東京都が委託）が協働して実施

職域がん検診支援事業概要 (案)

背景

○ 東京都がん対策推進計画の目標
平成24年度までに、職域を含めたがん検診受診率50%とする。

○ 区市町村が実施主体のがん検診受診率

	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮がん	乳がん
全国	11.8%	21.6%	18.8%	18.8%	14.2%
東京都	5.3%	7.4%	16.8%	12.8%	9.1%

◆平成19年度がん検診受診率(厚労省「平成19年度地域保健・老人保健事業報告」)

○ 職域のがん検診実施状況 (平成20年度がん検診実態調査)

胃がん	肺がん	大腸がん	子宮がん	乳がん
83.2%	82.4%	79.3%	60.6%	60.8%

・子宮がん、乳がん検診の事業所での実施率が低い。
・取組に消極的な理由は、事業所・健康保険組合とも、予算・人的体制の不足以外に「加入者及び経営層の検診の重要性や必要性への認識や理解の不足」が多い。

○ 目標達成に向けた取組
・都民に対する普及啓発
・区市町村に対するがん検診受診促進の取組
・**職域に対するがん検診受診促進への取組**

平成21年度の事業予定

好事例企業候補調査 (仮)

目的

・平成20年度がん検診実態調査により把握した企業の規模別・業種別の実態データを活用し、職域における好事例の紹介を行うこと、職域のがん検診実施率を高める。
・今後、職域との連携を進めるにあたり、職域におけるがん検診実施率を高める、効果的な取組を行っている企業を把握する。

事業概要 (案)

- ・子宮がん、乳がん及び大腸がんを主な対象とする。
- ・がん検診実態調査の結果を活用するとともに調査を実施し、対象となる企業を選定する。(女性社員が多い、女性のがん検診に理解がある、国指針に基づく検診実施率が高い等)
- ・好事例企業となりうる候補を業種別、規模別リストアップし、対象企業へのヒアリングを実施する。
- ・普及啓発パンフレットの利用や、ホームページでの好事例紹介などPRを実施する。
- ・報告書を作成、今後の都の施策の基礎資料とするために、効果的ながん検診の実施率及び受診率向上のための提案を行う。契約方法
- ・企画提案方式により、がん検診の知識及び調査マーケティング手法の専門知識のあるアドバイザーに会社に事業委託。

職域連携推進事業

目的

- ・職域と連携し、がん検診の受診率向上を図るため、企業への普及啓発を行う。
- ・事業概要 (案)
- ・普及啓発パンフレットの作成 (15,000部)
- ・百貨店やスーパー等と連携し、顧客に向けても受診を勧奨 (パンフレット配布による検診受診のPRなど)

国事業

「がん検診受診促進企業連携事業」(企業との連携による受診促進事業)の活用
・地域住民の雇用、顧客と接する機会が多いなど、高い普及啓発効果が期待される企業等と連携する。
・がんに関する正しい知識及び検診の必要性についての情報提供等を実施する。

スケジュール

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	平成22年度
東京都		7月 7月			
シ		7月 7月			
ン		8月 9月		12月	
ク		9月 9月		12月	
タ		10月 10月		12月	
ン		10月 10月		12月	
ク		10月 10月		12月	
(企業等)				12月	3月

事業全体・関係機関調整
企画審査(業務選定委員会)
契約手続
パンフレットの印刷
企画・評価委員会の開催、企業・健康保健組合等へのPR
20年度がん検診実態調査結果の分析
調査対象リストの作成
ヒアリング内容の検討・実施
リーディング企業候補のリストアップ
効果的な職域支援の検討
普及啓発パンフレット案の作成
報告書の作成
従業員へのがん検診普及啓発
(女性の健康習慣等でのパンフレットの活用)

平成21年度に策定した職域での受診率向上策を、平成22年度から展開し、がん検診に取組む企業等を支援する。
健康づくり活動部会を活用して取組を紹介
表彰制度実施
・好事例の取組に対して企業を表彰
効果的な支援策の検討